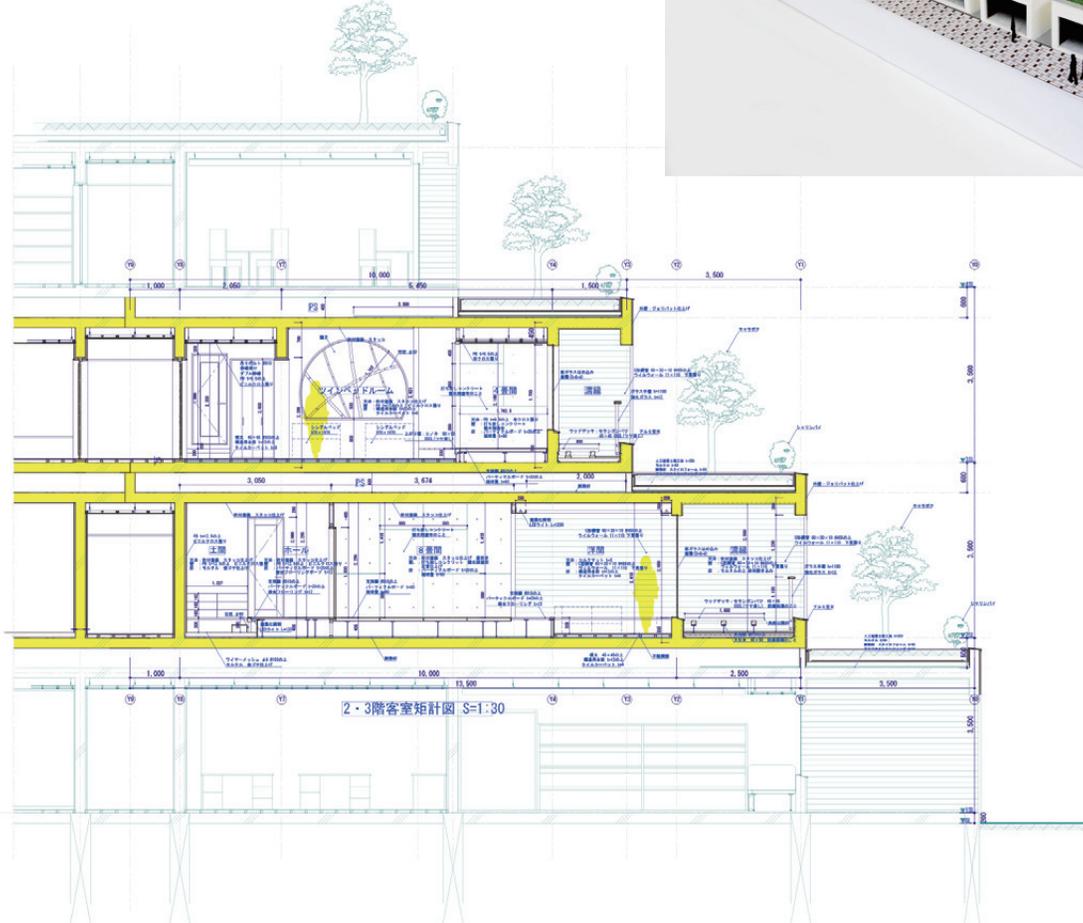


Works05

課題テーマ
ホテル(4年次卒業設計)

【コンセプト】

鎌倉は「古都」と「湘南」という2つの顔を持ち合わせた街である。閑静な住宅街や活気ある商店街が混在し、風情の良い自然が広がる。これらの街並みを壊すことなく、セットバックさせたボリューム、新たな客層を取り込むカジュアルタイプのホテルを計画する。また、本計画地は海の目前であるため、過去の震災を教訓に津波被害を最小限に留める建築計画とした。(岩村洋樹)



鎌倉ホテル
しぜんとの共存
2つの異質な環境、歴史、建築の継承から読み取り、これらの要素を考慮したデザインの提案。

●背景区域
当該敷地は在来集落区域、海浜在来集落区域の2つの異質な区域が重なっている。これらにはそれぞれ異なる規制が定められている。規制をまとめると、しぜんとの共存を謳っている。

●手法
3.11の大規模地震による深刻被害で日本には大きな被害が及んだ。このことより津波というものが、重要視されるようになった。建築は自然の恵みであり、建築するにあたって、津波というものを視野に入れないといけないものだと考えた。

●緑地の活用
観光地として有名な鎌倉。正統鎌倉と新鎌倉、2つの顔を持ち合わせた街である。多く神社や歴史的建造、海や山などといった豊かな自然に恵られている。新鎌倉に在来集落や商店街が共存し、風情の良い自然が広がっている。これらの恵み合いのものを壊したくないと考えた。

概要
建設予定地：神奈川県鎌倉市長谷2丁目22-2
敷地面積：4654.07㎡
用途地域：近隣商業地域
準防火地域
在来集落区域：2400.35㎡
海浜在来集落区域：2293.72㎡

構造
鉄筋コンクリート造
階数：地上4階建て
名指し階数：1F：615.00㎡
2F：808.50㎡
3F：1044.40㎡
4F：1500.10㎡

延床面積：3969.80㎡
建築面積：1512.00㎡
容積率：85.27%
建築率：32.89%
客室数：28室 2F:14室
3F:14室
宿泊者数：40人・84人
客室タイプ：ダブルベッドルーム：31.50㎡ 6室
ツインベッドルーム：31.50㎡ 8室
和洋室：42.00㎡ 14室

案内図

敷地及び周辺環境

敷地調査理由：鎌倉という観光地にホテルを建設したいと考えたときに、客室からの眺めを想定した。そうした時に緑豊かな眺望や、海が一望できる場所に建設したいと考えた。また、観光地ということもあり、また交通手段を電車と想定すると、駅に近い場所がよいと考え、自然環境が良いことになった。そして見直しの上で上記の場所である。長谷駅から海に向かい徒歩2分ほどで、歩きやすい場所である。ここであれば上記の条件を満たすことができ、バス停も近いので利便性が良い。周辺には観光地ならではの店やオシャレなカフェも多く、賑わうことができるので、この敷地を建設予定地とすることにした。

配置計画

- 商業集落区域では、鎌倉の歴史の他に、観光地としての賑わいを残すような役割もある。このことから、ホテルの1Fの一部を商業街として開設して、周辺とのつながりとして賑わうようにした。また周辺に商業街を併せ、観光客を誘った。商業集落区域なので、水々を醸成されるようなスローペースを設計し、スローペースを設計した。
- 長谷駅からホテルに向かう道のまま賑わい見えるように真ん中のヴォリュームに、抜けを作ったため、その通りになるように配置した。これによりホテルの入口に入り、海に歩幅が見えるようになる。
- 万が一の火災時に消防車が通れるに4mの道幅を確保できるように配置した。
- 火災時の消防車の道はレーンや歩道などを併走する歩道の車道の通り道となる。客室から見えないような配置、見えなくすることがある。
- 駐車場の通りは大規模の消防車の通り道となる。歩道区域の植栽により、駐車場の出入口は1箇所、周辺から見えないようにしなけりばならないので、水々を醸成することとした。

植栽のイメージ
キャラボク シャンリバイ サライザシ マツ